



# 北っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ  
家庭・地域に帰します！

◇教育目標：人・社会・未来へつなぐ Well-being

◇重点目標：学ぶ楽しさを見つけ、よりよい考えを表現できる子の育成

## 「ありがとうございます」と言える北っ子

校長 大野 昌広

あたらしとしはじはつはるきようふゆきしよごと  
新しき年の初めの初春の今日降る雪のいや重け吉事（大伴 家持「万葉集」巻二十 4516）  
《意味：新年を迎え、初春も迎えた今日、降る雪のように良い事もたくさん積もれよ》

令和8年がスタートしました。保護者・地域の皆様はどのような新年をお迎えになられたでしょうか。

本校は、昨日15日（木）に第3学期がスタートしました。

始業式に集まった元気な子どもたちの姿を目にし、事故・怪我・病気などに遭うことなく迎えられたことを喜ばしく感じました。登校してきた子どもは、皆、さわやかな挨拶をしてくれます。

本年も保護者・地域の皆様のご理解とご支援をお願いします。

### □自己肯定感の高さが、学びの原動力になる

自己肯定感というのは、「自分を肯定的にとらえる意識や感情」のことをいいます。日本の子どもたちは、諸外国から比べると自己肯定感が低いと長く言われています。昨年12月に実施した児童アンケートに自己肯定感に関わる「自分のよいところを知り、よさをのびそうと考えて生活していましたか？」という設問がありました。この設問に対する肯定的回答は88.8%。同様の設問は7月にも行われており、その際は87.1%でした。本校はきわめて高い数値です。文部科学省が実施している「全国学力・学習状況調査」の結果からは、毎年興味深い事実が見えてきます。「自分には、よいところがあると思うか」という質問に対し、「当てはまる」と回答した児童は、そうでない児童に比べ、国語・算数ともに平均正答率が高い傾向にあるのです。自己肯定感が高い子は、失敗を「ダメなこと」ではなく「成長の糧」と捉え、粘り強く挑戦する力を持っています。この「心の安定」という土台があるからこそ、知的好奇心が芽生え、思考を深めるエネルギーが湧いてくるのです。学力向上には、ドリルや暗記も大切ですが、それ以上に「自分は大切な存在だ」という自信が不可欠です。ご家庭でも、結果の良し悪しだけでなく、日々の努力や優しさを言葉にして伝えてあげてください。その積み重ねが、子供たちの可能性を大きく広げる確かな力となります。

### □「ありがとうございます」……感謝の気持ちが自己肯定感を高める

昨今は書店やインターネット上で「自己肯定感」という言葉をよく目にします。自分を大切に思う心、自己肯定感を高める方法は様々ですが、実は「感謝の気持ちを持つこと」がその近道であるということが、近年の科学研究で明らかになってきました。最新の研究によれば、感謝の習慣は身体の炎症を抑え、睡眠の質を高め、疲労を軽減するなど、健康面に大きなプラスの影響を与えるそうです。イリノイ大学の研究では、感謝の心を持つ人はそうでない人に比べ、寿命がおよそ9.4年も長いという驚きのデータも報告されています。脳科学の視点からも、感謝することで「幸せホルモン」と呼ばれるドーパミンやセロトニン、多幸感をもたらすオキシトシン、エンドルフィンといった脳内物質が分泌されます。これらは心を癒やし、前向きな気持ちを引き出す源となります。感謝とは、相手が自分にしてくれたことに気づき、自分の価値を再認識するプロセスでもあります。だからこそ、感謝は自己肯定感の向上に直結するのです。始業式では、子供たちに「ありがとう」の大切さを伝えました。心で思うだけでなく、言葉にして表現すること。家族に、友達に、先生に、一番身近で温かい「ありがとう」という言葉を届けてほしいと話しました。

ある本に、感謝の心が大切な理由が記されていました。

- ちょっとした幸せに気づかせてくれる
- 人に優しくなれる
- 自分自身や周りの人を大切にできる
- 自分自身が成長できる
- ポジティブに物事を考えることができる

「ありがとう」の一言が人生を明るくし豊かなものにしてくれるに違いありません。そして、子どもたちの心と体を健やかに育む、一番の栄養剤になるはずです。感謝の気持ちをもつことの大切さを説きながら、子どもたちひとりひとりの自己肯定感を高める3学期を目指します。

# 通学路の安全確保について（お願い）

末広北小学校の周辺の道路は道幅が狭く、冬期間は、子どもたちの通る歩道が雪でふさがれて通りにくくなります。雪を置く場所や除雪の時間帯など通学路の安全確保へのご協力をお願いします。

また、児童送迎時の車からの乗り降りについては、正門前道路ではなく、職員駐車場で行っていただけるようお願いいたします。児童の登下校の安全確保のためにも、ご理解とご協力のほどをお願いいたします。

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

先日、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が届きました。本校では、全校児童対象に各種目の調査を行っており、5年生のデータを基にした結果ではありますが、全学年同じ傾向となっています。本校の傾向と今後の具体的な取組をお知らせいたします。また、5年生の個人票は、後日お子さんを通して配布します。

### 【本校の傾向】

◎握力、長座体前屈、立ち幅跳びなど、力強さ・体の柔らかさ・タイミングの良さの項目が強い。

▲シャトルラン、上体起こしなど、持久力・力強さに関する運動に課題がある。

▲50m走など、すばやさ・力強さに関する運動に課題がある。

### 【課題克服に向けた今後の具体的な取組】

- 1 保健体育委員会が中心となり、季節を問わず体を動かす企画を提案・実施します。
- 2 各学年の体育の授業冒頭5分間で課題となっている基礎運動の時間を確保します。

## 保護者等セミナーのご案内

北海道教育委員会から「子どもの多様な学びを支える保護者等セミナー」の案内がきました。

興味をお持ちの保護者の皆様は、

<https://www.harp.lg.jp/iho2Wp5z> から直接お申し込みください。

子どもの多様な学びを支える 保護者等セミナー（第5回）		
参加費 無料	今年度 Final	事前 申込制
期 日	令和8年2月18日（水） 13時30分～15時30分	
実施方法	Zoomによるオンライン実施	
講 師	北海道教育大学札幌校教授 平野 直己 氏 「心理援助の視点からの不登校支援の 在り方（仮）」	
内 容	講 話 チャットによる意見交流	
申込み 問合せ	下記のWebフォームから、お申し込みください。 <a href="https://www.harp.lg.jp/iho2Wp5z">https://www.harp.lg.jp/iho2Wp5z</a>	
北海道教育庁生涯学習・学校安全課 TEL 011-206-6812		

## 入賞おめでとうございます

「旭川市の公園」作品展において、6年2組の〇〇〇さんの作品が優秀賞を受賞しました。受賞おめでとうございます



## サッカーボールの寄贈がありました

明治安田生命保険相互会社様から、本校にサッカーボールを寄贈していただき、12月17日（水）に本校校長室で贈呈式を行いました。

当日は、児童代表として保健体育委員会委員長の6年2組 〇〇 〇〇さんがサッカーボールを受け取りました。今回寄附していただいたサッカーボールは、大切に使用させていただきます。



